




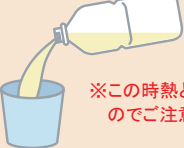

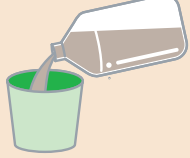




EM廃油石けんの作り方

天ぷら油などの廃油は、排水と一緒に流すと環境汚染を引き起こす原因になります。しかし、カセイソーダを加えて反応させてやることで、廃油石けんとして再利用することができます。さらに、米のとぎ汁EM発酵液やEM-Xセラミックパウダー(粒の細かい製品)を混ぜることで化学反応を促進し、洗濯だけでなく肌にも優しい良質な”EM廃油石けん”になります。この石けんは、一般の合成洗剤に比べ汚染源になりにくく、下水や河川・海を浄化する力があるというデータがでています。自然に優しい廃油石鹸を作ってみませんか？

材料

- 
① 廃油3.3リットル
- 
② カセイソーダ450g
- 
③ 米のとぎ汁EM発酵液
の上ずみ 1リットル
(EM活性液でも可)
- 
④ カセイソーダを溶かす
容器2リットル以上
- 
⑤ 廃油とカセイソーダ溶液を
混合する容器10リットル以上
- 
⑥ EM-Xセラミックパウダー
(商品例:EMスーパーセラC)
約100g

作り方

- 1 カセイソーダ450gを④の容器に入れる。

※作業の時は必ず手袋を付けてください。
- 2 米のとぎ汁EM発酵液を入れ、カセイソーダを溶かす。

※この時熱と煙が発生するのでご注意ください。
- 3 カセイソーダ溶液を棒でかき混ぜて反応熱を冷やす。

- 4 廃油3.3リットルを計り⑤の混合容器に入れる。

- 5 廃油を入れた④の混合溶容器の中に③のカセイソーダ溶液をゆっくり注ぐ。
(1リットルの溶液を5~10分かけるつもりで)
- 6 棒でかき混ぜる(攪拌は約30分)
※気温・湿度・油の状態によって多少の誤差があります。
◎マヨネーズ状になったら、かき混ぜるのをやめて7番へ。

- 7 牛乳パックに流し込む。必ずゴム手袋をはめること。

この時、焼酎などの大きめのペットボトルの口を切り取って、じょうごにすると簡単にできます。
(タッパーウェアやパスタケースも型枠として使えます。)
- 8 牛乳パックの腹を時々押してみてもよかん程の固さになったらゴム手袋をしてパックを切って取り出します。6時間から4日以内に固まります。

カッターなどで牛乳パックを切り開いてください。
- 9 切り分けて風通しのよい日陰に1ヶ月間置く。

EM石けん完成！

注意 作りたてはアルカリ性が強く肌荒れをするので1ヶ月以上寝かせてから使用します。

EM石けんの使い方の例

- お洗濯(くつした、軍手、えり汚れ、洗濯時の部分汚れなど衣類全般)
- 台所(茶碗、お皿、なべ、換気扇、ガス台、ステンレス、布巾など)
- 住居(窓ガラス、冷蔵庫のくすみ、テーブル、雑巾洗いなど)
- 浴室(お風呂水回りなど)
- その他(ズック、泥汚れ、墨汁の汚れ、洗車など)

注意事項

- ◎苛性ソーダは劇薬なので作業中目に入らないように注意。(カセイソーダは印鑑を持参し薬局で購入。)
- ◎作業時は手袋をし、肌を露出しないような服装で。(長袖、長ズボンの服装。半袖の場合は腕カバーをする。)
- ◎液が肌についたらヌルヌルが取れるまで水で流す。
- ◎発生する気体は有害なので吸わないように。換気に注意。
- ◎気温20℃以上の時期に作るのが理想です。

